

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	78	学校名	浜松工業高等学校（全）	校長名	野崎 真司
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

<p>校訓「質実勤勉」を柱に、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む工業技術者を育成する学校として、確かな技術力と分野横断的な応用力、そしてSSH（Super Science High school）研究指定校として、鍛え抜かれた実践力と科学に基づく思考力を身につけるためのカリキュラムを通じて、静岡県西部地域の製造業を支える人材にとどまらず、Society5.0で実現する社会を支える最先端科学技術者の育成を目指す。</p>
--

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(1)各学科の分野での不可欠な学力と高度な知識・技能を持った人材 (2)社会に貢献しようとする意志を持ち、自ら創造力と専門性を高め続けることができる人材 (3)他者と協働できるコミュニケーション能力を持った人材	(1)基礎・基本の定着を確実にし、更に専門的な知識・技術の習得を目指した教育活動 (2)就職や進学に対応した柔軟な教育課程と科を超えた教育資源の活用による教育活動 (3)大学や産業界と連携し、実践的・体験的な学習を重視した教育活動	(1)知的好奇心を持ち、工業に関する学習や資格取得に積極的に取り組む意欲がある生徒 (2)学校や社会の規則を尊重して行動し、協力して学校生活に取り組む意欲がある生徒 (3)学校行事・生徒会活動・部活動に明確な目標を持ち、積極的に取り組む意欲がある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 専門的な知識や技術を習得せさせるとともに、様々な資格取得のためのサポートをすることで、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
- イ 就職や進学に対応した柔軟な科目選択や、科を超えた教育資源の活用（クロス・カリキュラム）による分野横断的な応用力を身につける授業を展開する。
- ウ 創造力や課題解決能力の育成を図るため、大学や産業界、行政と連携し実践的・体験的な学習を重視した教育活動を行う。
- エ 学習の成果、研究結果等を学校内外に発信することで、生徒が主体的に考え、自ら行動する資質を育む。
- オ 一人一台端末のICT機器を駆使し、生徒がよりわかりやすい授業となるよう授業改善を図る。
- カ 学校の活動をより外部機関や義務教育関係者等に知ってもらうため広報活動の一層の充実を図る。
- キ 生徒の基本的生活習慣を保証するための安全かつ安心な学校づくりを推進する。
- ク 教育活動が円滑に展開できるよう教育環境・職場環境の整備を図る。
- ケ 静岡県教員育成指標に基づいた教職員の資質向上を図る。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	Society5.0で実現する社会を支える技術者の育成 に向けた技術者の育成	学科を超えた教育資源の活用 工業科目と共通科目を超えた授業連携	課題研究による学科での授業連携 課題研究・工業情報数理での具体的な実践	科長会 SSH推進室

様式第1号

		入試の多様化に対応できる体制の確立	S P I 対策、外部検定試験の受講推進 「教育課程は自分の進路希望にかなうものになっている」と回答する生徒 90% 以上	進学対策室
		S S Hによる S T E A M 教育の推進	複数の科が関わる課題研究の実践 「S S H 事業を何か受講したことがあるか」に「はい」と回答する生徒 75% 以上	S S H 推進室
イ	基礎・基本の定着と知的好奇心の育成	各教科が日頃から基礎・基本を定着させるための指導実施	「先生の説明はわかりやすい」「質問に丁寧に答えてくれる」と回答する生徒 90% 以上	教務課
		学校図書室の利用促進と有効活用	生徒の年間平均貸出冊数 2 冊 / 人以上 「本校は読書指導に熱心に取り組んでいる」と回答する生徒 70% 以上	図書課
ウ	生徒会を中心とした生徒主体の活動拡大	生徒会が企画運営した学校行事の充実	学校行事における生徒の満足度 90% 以上 「ボランティアに関心がある」と回答する生徒 85% 以上	生徒課
エ	学校ホームページの有効活用及び効果的な広報活動の展開	浜工ニュースを毎日掲載することによる学校の魅力発信	1 日の平均訪問回数 800 以上	学科 学年 課 部活動
オ	多様化する生徒の進路選択の把握と希望する進路先への導き	進路計画に基づき、個々の生徒の進路希望状況に応じた進路指導の実施	就職内定率 100%、国公立大学合格者 20 人以上 「進路についての情報提供は十分である」と回答する生徒 90% 以上	進路課 3 学年
カ	基本的な生活習慣の確立と安全・安心な学校づくりの推進	毎月の自転車街頭指導の実施及び危険個所での指導徹底	重大な交通事故ゼロ	生徒課
		危機管理マニュアルに則った防災体制の整備	防災訓練の年 3 回実施	総務課
		気持ちのよいあいさつができる生徒の育成	「あいさつがきちんとできる」と回答する生徒 90% 以上	生徒課 全職員
		健康と環境整備への高い意識を涵養する取組	保健だよりの発行年間 10 回以上 職員による安全点検年 6 回実施	保健課
		生徒の心の健康状態の把握と援助を要する生徒に対す	教育相談室員による面談年間 20 回以上	教育相談室

様式第1号

		る早期対応		
		未然に事故が防げるようKYTの実施とヒヤリハットを共有する。	授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ	教務課 全職員
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境・職場環境の整備	情報ネットワーク環境の維持管理	学校開校日のネットワーク稼働率 100%	情報管理課
		優先順位に基づいた学校施設の整備	学校の施設（機械・備品等）について「満足できる」と回答する生徒 80%以上と 新たな施設建設工事における事故ゼロ	事務室
		生徒が利用しやすい食堂・購買の整備	学校給食に関する肯定意見 85%以上	厚生課
		働きやすい職場環境を目指した職務内容の精選と職務分担の見直し	夏季休暇取得 100% 時間外勤務前年度比 90%の実現	運営委員会
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法の確立	授業公開、生徒による授業アンケート、ICT機器の活用及び教員育成指標に基づいた研修の推進による授業改善	授業公開での教職員相互授業参観 2回以上 生徒授業アンケート 2回以上 ICT機器を活用して教育活動を展開する教職員 100%	研修課 管理職